
社会デザイン賞 *Social Design Prize*

2020 年度(第 8 回) 応募要項

主催 社会デザイン学会

◆社会デザイン賞の目的とねらい

パラダイムの大きな転換期にある現在、これからの社会デザイン（新しい生き方、新しい社会のあり様など）を模索し、社会の生き残りや再生を考えるにあたって必要とすべき<知>や<技>の形成に寄与する優れた研究者および実践者に対して褒賞を与え、今後の研究や活動の一層の発展を応援することを目的とします。

これにより、「社会デザイン学」の更なる深化と発展が図られることを期待します。

◆受賞者

- ・社会デザインに関する優れた研究または実践活動を行ってきた個人または団体・組織が受賞の対象となります。
- ・受賞者は、社会デザイン学会の会員であることを条件としませんが、以下の要件をすべて満たしていることが必要です。
 - (1) 日本国内に在住（個人）または在所（団体・組織）していること。
 - (2) 研究または実践活動の実績を有していること。
 - (3) 研究または実践活動の継続性が見込まれること。
 - (4) 政治活動、宗教の布教を目的とした行為や活動を行っていないこと。
 - (5) その他、公序良俗に反する行為や活動を行っていないこと。

◆賞の種類と概要

1. <社会デザイン大賞>

「社会デザイン」に関する顕著な研究業績または活動業績をあげた者を顕彰し、副賞として10万円を贈呈します。なお、必要に応じて<優秀賞>を設ける場合もあります。

2. <社会デザイン学会奨励賞>

①「社会デザイン」に関する今後の研究の発展が期待される研究者（大学院生を含む）および②「社会デザイン」に資する実践活動の発展と広がりが期待される個人または団体を顕彰し、併せて副賞として3万円/件を贈呈します。

3. <社会デザイン学会特別賞>

本学会に顕著な貢献のあった学会員を顕彰し、併せて記念品を贈呈します。

◆応募について

- ・応募は「推薦制」とし、他薦を原則とします。
- ・受賞候補は以下の通りとします。
 - (1) 大賞および奨励賞については本学会の会員に限りません。
 - (2) 特別賞については本学会の会員に限りません。
- ・推薦人は以下の通りとし、いずれの場合においても2名以上を必要とします。
 - (1) 大賞については本学会の会員に限りません。

(2)奨励賞および特別賞については本学会の会員に限ります。

- ・推薦人は、学会所定の「推薦書」および、受賞候補に関する研究業績または活動業績（著書、論文、報告書等）を指定の期日までに学会事務局へ提出ください。
- ・上記の業績については、毎年9月末までの過去3年間に公刊された①著書、②論文、③報告書、等のうち、日本語または英語で執筆されたもの計5点以内とします。

この場合、①は原則として単著、②は著作の一部、学会誌、紀要、報告書・雑誌掲載論文、学位論文（修士論文・博士論文）、③は各種調査・研究・活動報告書とします。なお、応募の内容によっては、これら以外に、ビデオ、CD、作品など、書き物以外の制作物も審査の対象となります。

- ・応募締切は **2020年10月26日**（必着）です。

応募用紙はメール添付にて、関係資料は郵送で末尾の連絡先に送付してください。

◆審査および選考

- ・審査は「選考委員会」（学会役員および外部有識者等で構成）にて行われます。
- ・審査にあたっては、提出された「推薦書」および、これに関する研究業績または活動業績（著書、論文、報告書等）が対象となります。

◆受賞者の決定等：

受賞者は、選考委員会での審査・選考を経て、社会デザイン学会理事会にて決定されます。発表は12月6日（日）の「学術集会」にて行い、受賞式と記念講演会は同日夕方に予定しています。

◆その他

- ・選考結果の理由等、審査・選考に関わるお問合せには応じかねますので、予めご承知おきください。
- ・ご応募いただいた個人情報につきましては、賞の運営および、その他学会事務局からの必要な連絡のみ使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

◆選考委員

戒能 民江	お茶の水女子大学 名誉教授
北山 晴一	社会デザイン学会 会長／立教大学名誉教授
栗原 彬	立教大学名誉教授
近藤 誠一	国際ファッション専門職大学学長／(元)文化庁長官
塩月 亮子	跡見学園女子大学観光コミュニティ学部 教授
中村 陽一	立教大学名誉教授
橋本 佳子	映像プロデューサー

【応募・連絡先】

(〒102-0073) 東京都千代田区九段北1-15-2

日本法制学会 気付 社会デザイン学会「社会デザイン賞」事務局

メール info@socialdesign-academy.org

TEL : 03-6822-9901 FAX : 03-3556-8217

2020年8月

各 位

社会デザイン賞の推薦のお願い

社会デザイン学会

会長 北山晴一

社会デザイン学会は、2006年6月、21世紀の文明社会の危機管理をその研究教育の重要な柱として構想され、設立された学会です。現下の新型コロナウイルスによって起こされたパンデミック状況は、当時、私たちがすでに危惧していた事態、すなわち文明社会の危機管理の困難さについて、恐ろしいほどの生々しさをもって教えてくれるものですが、おそらく、今回の事態の深刻な特色は、たとえいったん感染症が収まったとしても、すっきり元の世界に戻るなどできなくなっているのではないかと。誰もがそんな思いに囚われてしまっている点にあるように思えてなりません。

しかし、であればこそ、いままさに、私たちの生きる文明社会の知恵が—そして社会デザイン（学）の真価が—試されているのではないかと、そういう叱咤と奨励の声もすでに聞こえてきます。

みなさまにおかれましては、別紙の「社会デザイン賞の目的とねらい」をご参照の上、社会デザイン（学）に関わるさまざまな分野で活動や研究を実践されておられる方々を、多数ご推薦くださるようお願いいたします。

以 上

社会デザイン大賞・優秀賞 過去の受賞(肩書は受賞当時)

2013年度 菅野典雄 福島県飯舘村村長

2014年度 佐野章二 特定非営利法人ビッグイシュー基金理事長

☆優秀賞 村田早耶香 特定非営利活動法人 かものはしプロジェクト共同代表

2015年度 三陸鉄道株式会社

2016年度 藤田和芳 株式会社大地を守る会社社長

☆優秀賞 劇団熊変 (主宰・芸術監督 金 満里)

2017年度 花田昌宣 熊本学園大学教授・水俣学研究センター長

2018年度 長谷川幹 一般社団法人脳損傷者ケアリング・コミュニティ学会理事長

2019年度 本田 徹 認定NPO法人シェア代表理事、福島県高野病院医師